

価値創造のあゆみ～挑戦し続けるDNA～

三井不動産は、1673年に東京・日本橋で創業した呉服店「越後屋」を起源とし、前身である三井合名会社の不動産部門を分離する形で1941年に設立されました。幾多の転換期を迎えた日本経済・不動産市況のなかで、臨海エリアの埋立、日本初の超高層ビルや本格的アウトレットモールの開発、不動産と金融の融合を目指した国内初のJリートの上場など、「進取の気性」と「顧客志向」を活かし、新しい価値を創造してきました。

三井不動産グループのルーツ

今から約350年前、三井高利が江戸日本橋に呉服店「越後屋」を創業。「現金安売り掛け値なし」という画期的な商法で飛躍的に発展しました。そうした「進取の気性」と「顧客志向」を三井不動産グループは受け継いでいます。「越後屋」はその後、事業の幅を広げ「三井合名会社」となりました。そして1941年、三井合名会社の所有不動産を管理する「不動産課」が分離独立し、三井不動産が設立されました。



創始者 三井高利
(写真:三井文庫所蔵)



江戸時代の日本橋「越後屋」
(写真:三井記念美術館所蔵)

1941(設立)～

高度経済成長下で
事業基盤を確立

1970～

安定成長に向けた
多角化経営へ

1990～

バブル崩壊後のデフレ下で
事業を再構築

2000～

資産デフレが収束し、
街づくりの推進へ

2010～

市場が成熟するなかで、
ミクストユースの街づくりを推進

新たな価値の創造

1950年代後半～
首都圏のインフラ整備に貢献
「海を大地に変える」
京葉臨海地区の埋立事業

1968年
日本初の超高層ビル
「日本の超高層時代を切り拓く」
霞が関ビルディング

1981年
ショッピングセンターの先駆け
「新しいライフスタイルの創造へ」
ららぽーとTOKYO-BAY

1993年
東京湾岸タワーマンションの先駆け
「都心の住宅課題の解決へ」
大川端リバーシティ21 西ブロック

1995年
日本初の本格的アウトレットモール
「新しい消費スタイルの創造へ」
三井アウトレットパーク大阪鶴見

2001年
国内初のJリート上場
「不動産業界に新たなビジネスを」
日本ビルファンド投資法人

アセットクラスの拡大

当社の強みを活かしたミクストユースの街づくり

2004～
「日本橋再生計画」開始

2007
「東京ミッドタウン」開業

2014
「柏の葉スマートシティ」開業

2018
「東京ミッドタウン日比谷」開業

海外事業エリアの拡大

北米

1973 米国三井不動産 設立

1984 ホテル「ハレクラニ」 開業(ハワイ)

1986 「1251アメリカ街」 取得(ニューヨーク)

1990 英国三井不動産設立

欧州

2013 サンフランシスコ支店設立

ハドソンヤード

テレビジョンセンター

アジア

1972 シンガポール
ホンレオン・グループと合弁会社TID社設立

2005 中国
上海駐在員事務所開設

2013 東南アジア
住宅事業に参画

2016 台湾
「三井アウトレットパーク台湾林口」開業

2020 インド
「RMZエコワールド30」着工

11 三井不動産 統合報告書 2021

三井不動産 統合報告書 2021 12